



## 「富士山からの挑戦状」を活用した「富士山学習」出張講義を初開催！



【富士山からの挑戦状】



富士山の環境保全に取り組んでいる「ふじさんネットワーク（事務局：静岡県自然保護課）」では、子供たちの富士山を大切にする心をはぐくむため、富士山学習リーフレット「富士山からの挑戦状」を公開し、富士山学習を推進しています。

「富士山からの挑戦状」は、富士山の、火山としての成り立ちや自然環境、富士登山の心得等をクイズ形式で学ぶことができます。電子書籍配信ポータルサイト「シズオカイーブックス」で無料で閲覧できます。

令和5年度からは、リーフレットの執筆・監修を務めた山田辰美常葉大名誉教授による出張講義を開催し、先生方が「富士山からの挑戦状」を活用して授業を行う際の参考としていただいています。受講した教員からは「非常にわかりやすく、地域のことを学ぶ総合学習の教材として活用してみたい」との声をいただいています。



小学校での出張講義

## 「森林 ESD」出前授業を実施



森林ESD\*とは、森林への理解を深め、持続可能な社会を実現するために必要なことについて考え、行動する力をはぐくむ教育のことです。

県と（公財）静岡県グリーンバンクは、社会科の授業で森林について学ぶ小学校5年生を対象に、楽しみながら深く学んでもらえるよう、カッコいい装備の林業のプロとインタープリターによる森林ESD出前授業を、12校（富士宮市他）で実施しました。

子どもたちからは「森林を守るために、自分ができることって何だろう？」等、身近な環境や社会について、自分の事として考える姿が見られました。

また、先生からも「教えることがギュッとまとめられていて、今後の授業に役立つ」との感想をいただきました。



授業風景（富士宮市立黒田小学校）



林業のプロに質問（富士宮市立富丘小学校）

\*ESD（Education for Sustainable Development）



## 環境と調和した社会の基盤づくり

### 生産者と消費者をつなぐ「ふじのくに SDGs 認証制度」を創設



認証マーク

農林水産物の生産者や飲食店におけるSDGsの取組を広く公表、周知することで、生産者や飲食店の取組を推進するとともに、消費者の皆様にも認証された生産者の農林水産物や飲食店の利用を促し、県内にSDGsの輪を広げていくため、「ふじのくにSDGs認証制度」を創設しました。

生産者や飲食店から申請された内容を審査し、地産地消や環境配慮の取組などの認証基準に基づき採点した結果を基に認証しています。

令和6年8月現在、生産者28件、飲食店16店舗を認証しています。



募集チラシ

### 高校生チームが脱炭素企画を提案「アオハル・エコロジー・ラボ」



気候変動やエネルギー問題などに関心のある高校生がチームをつくり、脱炭素につながる企画を提案する「アオハル・エコロジー・ラボ」を、静岡大学との連携のもと、令和5年度から実施しています。高校生とメンター役を務める大学生が、1年間かけて、脱炭素につながるモノ・コト・アクションなどの企画に取り組み、令和6年3月にその成果を発表しました。高校生43名（県内17校）、大学生メンター15名に加え、協力企業・団体も参加しました。

令和6年度は、企業・団体等と一緒にテーマを設定し、協力して検討を進めるAdvancedコースを新設し、更なる充実を図っています。



成果発表会



ワークショップの様子

### いわた節電促進キャンペーン



磐田市では、二酸化炭素排出量を削減するため、夏季と冬季で前年より電気使用量が削減できた家庭に対し、キャッシュレス決済残高を抽選でプレゼントするキャンペーンを実施しました。

受付から賞品支払いまでを完全電子化することで、手続きにおける省エネ・省資源を実現しています。約38,000kWhの節電効果と約16.7t-CO2の二酸化炭素排出量削減効果がありました。



キャンペーン画像